

研修 評価

テーマ	看護マネジメント～看護管理はじめの一步～				
領域	これから看護管理を担う人々を対象とした研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：6,160 円
対象	レベルⅢ・Ⅴ 募集数(60人)応募数(67人)参加数(61人)会員数(57人)非会員数(4人)				
日時	2023年10月23日(月曜日) 10:00～16:00				
ねらい(目標)	1) 看護過程と看護管理過程について構成要素を示して説明できる。 2) マネジメントプロセスとPDCAサイクルについて説明できる。 3) 看護職個人が行う看護管理と看護組織による看護管理を例示して説明できる				
講師	伊豆上 智子				
内容・方法	○講義内容 1. 看護過程と看護管理過程 「演習1」日常業務と看護管理(個人ワーク) 2. 看護業務の実践とマネジメント 3. マネジメントとは 4. 組織目的の達成と看護組織				
結果・評価 (受講者の意見感想含む)	○評価方法: 受講後アンケート調査 アンケート回収率 77% ○受講者の満足度 97.8% ○受講者の理解度 74.5% ○自己課題の達成度 95.7% ・自分なりに課題が見つかり、とてもいい学びになった。 ・看護管理の内容が難しく理解するまで時間がかかりそうだが振り返りたい。 ・講義が少し早かった。				
企画の評価	○目標・内容 ・受講者の理解度は70%台であったが、自己課題の達成度は95%以上であり、看護過程のプロセスが大切。問題の明確化、計画を立てることでみんなを巻き込んでひとつの目標に向かえるように実践してみたいといった意見もあり、目標・内容について妥当と考える。 ○プログラムの妥当性 ・「ねらいと内容の整合性」については100%が「あった」「ほぼあった」と回答していた。開催時期、企画は妥当と考える。 ○事前準備・当日の運営など ・同じ病院4名の方が欠席された。看護協会から連絡し確認してもらう。研修日の間違いで欠席となった。 ・グループワークをする際、机の並べ方を朝の受付時に掲示していたが、欠席者が5名あり、テーブルの設置数を3から2へ減らした。担当者が各グループにテーブル配置を指示して5分程で設置完了した。講師の計らいもあり、テーブル移動は午後講義開始5分前からとした。				
課題	毎回グループワーク時のテーブル配置でスムーズに移動ができなかったため、事前に移動方法について担当者と相談していた。そのためスムーズに行えたとは担当者は思っていたが、参加者から説明方法がわかりにくく、事前に図を示すまたはPCに表示してほしいとの意見があった。				
担当者	教育委員				